

2016年Comic Exhibition 漫画博覧会



会 期：8月11日(木)～8月16日(火)  
 会 場：台湾 台北 世界貿易センター第一号館  
 主 催：中華動漫出版同業協進會  
 後 援(指導単位)：文化局  
 対 象：一般・出版・アニメ関係者・音楽関係者・教育関係者・玩具関係者・ゲーム関係者等

公式サイト：<http://www.ccpa.org.tw/comic/>

総来場者数：554,000人(昨年対比：113.0%)  
 出展社数：80社(前年比：114.2%)  
 うち日系企業：ICHIBAN JAPAN AREAのみで13社 その他は集計データ無し  
 出展参加国と地域数：中華民国/日本/中華人民共和国

■開催内容

中華動漫出版同業協進會主催の「漫画博覧会」は、1995年より開始され、2016年で十七回目を迎えることになりました。初めこそ小さなイベントでしたが、今では台湾の夏を代表する非常に大きなイベントとなっております。また、台湾だけではなく、アジアで行われているアニメ、漫画のイベントの指標として、この業界全体の発展に寄与しています。2016年のテーマは「玩創意(アイデアで楽しもう)」は、アニメや漫画のアイデアによって生み出される力で、情熱を分かち合うことを表しています。

イベントのプロモーションでは、主催企業である大手漫画出版社が持つ「雑誌」「新聞」「WEB」等の媒体や、協力媒体などのプラットフォームを使用して、漫画博覧会を注目されるイベントにしております。

2016年は615ブースが使用され(昨年対比：102.5%)、出展者数も増加、更なる拡大を続けております。

■2016年度の新規取り組みとその成果・特色など

2016年では、オールジャパンコンテンツエリアを大きく展開し、日本企業の直接参加による、来場者の方々へのプロモーション活動も行いました。こちらのエリアは注目度も高く、台湾政府機関である文化局の政務次長による視察も行われたり、テレビ、新聞、ネットメディアにも大きく取り扱われる等、話題性の高いエリア運営の実施が行われました。

■他イベントとの連携事例とその成果

- 第十二届海峡兩岸圖書交易會  
⇒漫画以外での図書による国際交流
- 京都国際漫画マンガ・アニメフェア(京都会場に漫画協進會ブースを設置し、日本企業誘致活動実施)  
⇒日本での台湾漫画博覧会認知度の向上。日本企業より約10社の出展および提携の依頼相談有り。

■コンテンツと非コンテンツ企業とのコラボ事例と効果

- 【オールジャパンコンテンツエリアにてトークショー】
- 西武線×アニメ聖地巡礼紹介(約200名参加)
  - ファッションモデル×AEON(約120名参加)
  - 京都造形芸術大学キャラクターデザイン学科×日本有名漫画紹介(約100名参加、メディアによる取材有り)